

## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 共英製鋼株式会社

コード番号 5440 URL <http://www.kyoeisteel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣富 靖以

問合せ先責任者 (役職名) 本社経営企画部長 (氏名) 増田 晶紀 TEL 06-6346-5221

四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	124,023	12.0	10,191	135.8	9,781	145.9	6,010	97.9
2019年3月期第2四半期	110,718	28.0	4,323	161.3	3,977	181.8	3,037	201.9

（注）包括利益 2020年3月期第2四半期 5,290百万円（79.2%） 2019年3月期第2四半期 2,952百万円（327.1%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	138.29	—
2019年3月期第2四半期	69.96	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	251,631	157,719	58.5
2019年3月期	261,590	153,781	54.8

（参考）自己資本 2020年3月期第2四半期 147,179百万円 2019年3月期 143,407百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	50.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有  
詳細は、本日開示しております「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	△0.9	16,500	79.3	16,000	85.1	10,000	53.7	230.10

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有  
詳細は、本日開示しております「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	44,898,730株	2019年3月期	44,898,730株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,439,725株	2019年3月期	1,439,682株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	43,459,013株	2019年3月期2Q	43,413,627株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、輸出を中心に弱さがみられるものの、企業収益は底堅く推移し、雇用・所得環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米中の貿易摩擦の影響や地政学リスクの高まりにより、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの属する普通鋼電炉業界におきましては、原材料である鉄スクラップの市況軟化の影響から、国内鋼材需要は様子見状況が続き、国内鋼材市況は弱含みに推移しました。しかしながら鉄スクラップ価格は期初より下落傾向で推移したことから、利益の源泉となる売買価格差(製品価格と原材料価格の差額)は拡大しました。

海外鉄鋼事業については、ベトナムにおいては、南北で業況にばらつきはあるものの、世界的な鉄スクラップ価格の下落の影響などから売買価格差が拡大し、全体として当初計画を上回る業績となりました。米国においては前期後半の製品市況の過熱感は落ち着きつつあるものの、業績は引き続き好調に推移しました。

これらの結果、当社グループの連結売上高は前年同期対比13,304百万円(12.0%)増収の124,023百万円となりました。連結営業利益は前年同期対比5,869百万円(135.8%)増益の10,191百万円、連結経常利益は同5,804百万円(145.9%)増益の9,781百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同2,973百万円(97.9%)増益の6,010百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

## ① 国内鉄鋼事業

当事業部門については、製品出荷量は前年同期対比1.2万トン減の83.1万トンとなりました。鉄スクラップ価格は前年同期対比トン当たり5.7千円(16.0%)下落した一方、製品価格が同2.9千円(4.4%)上昇したため、売買価格差は8.7千円(27.7%)拡大しました。

以上の結果、売上高は前年同期対比1,900百万円(3.1%)増収の63,579百万円、営業利益は同4,425百万円(128.2%)増益の7,875百万円となりました。

## ② 海外鉄鋼事業

当事業部門は、ベトナムと米国にて鉄鋼事業を展開しております。

ベトナムにおいては、引き続き競合環境は厳しいものの、鋼材需要は堅調であり、鉄スクラップおよび半製品価格が下落したことから、業績は概ね堅調に推移しました。

米国においては、前期後半に高騰した製品市況が調整局面に入りましたが、依然として高水準で推移したことから業績は好調でした。

以上の結果、売上高は前年同期対比11,412百万円(25.0%)増収の57,005百万円、営業利益は同1,387百万円(130.1%)増益の2,452百万円となりました。

## ③ 環境リサイクル事業

当事業部門については、鉄スクラップ価格下落の影響や処理コストの増加、スポット案件の減少などにより、売上高は前年同期対比60百万円(1.8%)減収の3,203百万円、営業利益は同91百万円(17.0%)減益の442百万円となりました。

## ④ その他の事業

当事業部門については、国内子会社を通じて土木資材の販売および保険代理店業等を行うほか、ベトナムで港湾事業を展開しております。港湾事業の操業が軌道に乗ってきたことから、売上高は前年同期対比52百万円

(28.5%)増収の236百万円、営業利益は同135百万円(前年同期は73百万円の損失)増加し62百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて9,129百万円(5.6%)減少し、152,787百万円となりました。これは、現金及び預金が9,149百万円増加し、受取手形及び売掛金が9,284百万円、電子記録債権が4,185百万円、有価証券が1,600百万円、流動資産その他が2,780百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて830百万円(0.8%)減少し、98,844百万円となりました。これは、有形固定資産その他が955百万円増加し、機械装置及び運搬具が1,667百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて9,959百万円(3.8%)減少し、251,631百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて11,977百万円(15.0%)減少し、67,923百万円となりました。これは、

支払手形及び買掛金が6,604百万円、電子記録債務が1,382百万円、短期借入金が4,347百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,921百万円（6.9%）減少し、25,988百万円となりました。これは、長期借入金が2,203百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて13,898百万円（12.9%）減少し、93,912百万円となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて3,939百万円（2.6%）増加し、157,719百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益6,010百万円、剰余金の配当1,304百万円、為替換算調整勘定の減少626百万円等によります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の54.8%から、58.5%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて13,388百万円増加し、39,794百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、16,319百万円の収入となりました。収支の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益9,387百万円、減価償却費3,941百万円、売上債権の減少額12,984百万円、仕入債務の減少額7,832百万円、法人税等の支払額2,217百万円等によります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,632百万円の収入となりました。収支の主な内訳は、定期預金の預入による支出13,133百万円、定期預金の払戻による収入17,732百万円、有形固定資産の取得による支出2,184百万円等によります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、6,478百万円の支出となりました。収支の主な内訳は、短期借入金の純減額3,153百万円、長期借入金の返済による支出1,919百万円、配当金の支払額1,304百万円等によります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結会計期間以降（下期）については、国内鉄鋼事業においては、国内景気動向の先行き不透明感から国内鋼材需要は様子見が続く一方、鉄スクラップ価格は当初想定を下回る水準で推移することが見込まれるため、利益面において当初計画を上回る見通しです。ただし、鉄スクラップ価格が底打ち反転する可能性もあり、先行きについては楽観できない状況です。

海外鉄鋼事業については、ベトナムは同業他社の生産能力増強等により価格競争が一層激化しつつある状況にあり、引き続き堅調な鋼材需要が見込まれるものの、今後収益面で厳しい局面を迎えることが予想されます。米国においても、堅調に推移してきた鋼材需要の減速が懸念される状況です。

以上により、当社を取り巻く事業環境は特に海外において厳しいものの、通期の連結業績は従来予想に対し増益となる見込みであることから、2019年7月31日の「2020年3月期 第1四半期決算短信」で公表しました通期の業績予想を上方修正いたします。これに伴い、配当予想につきましても修正（増配）いたします。

詳細につきましては、本日開示しております「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	42,133	51,282
受取手形及び売掛金	48,845	39,561
電子記録債権	14,854	10,669
有価証券	4,400	2,800
商品及び製品	26,360	25,770
原材料及び貯蔵品	18,535	18,715
その他	7,289	4,509
貸倒引当金	△500	△519
流動資産合計	161,916	152,787
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,028	20,665
機械装置及び運搬具(純額)	34,980	33,312
土地	24,249	24,264
その他(純額)	1,360	2,315
有形固定資産合計	81,617	80,557
無形固定資産		
のれん	3,944	3,629
その他	2,565	2,409
無形固定資産合計	6,508	6,038
投資その他の資産		
投資有価証券	8,120	8,278
その他	3,493	4,036
貸倒引当金	△64	△65
投資その他の資産合計	11,549	12,249
固定資産合計	99,674	98,844
資産合計	261,590	251,631

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,816	11,212
電子記録債務	4,673	3,291
短期借入金	40,857	36,509
1年内返済予定の長期借入金	3,861	3,799
未払法人税等	2,053	2,686
賞与引当金	718	1,281
役員賞与引当金	2	1
その他	9,920	9,145
流動負債合計	79,900	67,923
固定負債		
長期借入金	24,069	21,866
繰延税金負債	730	614
再評価に係る繰延税金負債	2,433	2,433
役員退職慰労引当金	12	—
退職給付に係る負債	74	81
その他	591	994
固定負債合計	27,909	25,988
負債合計	107,809	93,912
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,516	18,516
資本剰余金	21,141	21,141
利益剰余金	98,550	103,291
自己株式	△1,700	△1,700
株主資本合計	136,507	141,247
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	785	723
繰延ヘッジ損益	32	△137
土地再評価差額金	4,625	4,625
為替換算調整勘定	1,251	625
退職給付に係る調整累計額	206	95
その他の包括利益累計額合計	6,900	5,932
非支配株主持分	10,374	10,541
純資産合計	153,781	157,719
負債純資産合計	261,590	251,631

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	110,718	124,023
売上原価	99,667	106,703
売上総利益	11,051	17,320
販売費及び一般管理費	6,728	7,128
営業利益	4,323	10,191
営業外収益		
受取利息	247	342
受取配当金	95	91
持分法による投資利益	—	296
その他	121	132
営業外収益合計	462	860
営業外費用		
支払利息	657	1,031
持分法による投資損失	6	—
為替差損	93	201
その他	51	38
営業外費用合計	808	1,270
経常利益	3,977	9,781
特別利益		
固定資産除売却益	13	7
段階取得に係る差益	549	—
受取保険金	48	36
その他	—	9
特別利益合計	610	52
特別損失		
固定資産除売却損	209	357
災害による損失	—	21
PCB廃棄物処理費用引当金繰入額	—	46
その他	9	22
特別損失合計	218	446
税金等調整前四半期純利益	4,369	9,387
法人税等	1,204	2,806
四半期純利益	3,165	6,581
非支配株主に帰属する四半期純利益	128	571
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,037	6,010



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	3,165	6,581
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	△62
繰延ヘッジ損益	239	△192
為替換算調整勘定	△525	△925
退職給付に係る調整額	3	△111
その他の包括利益合計	△213	△1,291
四半期包括利益	2,952	5,290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,042	5,041
非支配株主に係る四半期包括利益	△90	249

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,369	9,387
減価償却費	3,548	3,941
のれん償却額	66	188
引当金の増減額(△は減少)	293	586
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3	△14
持分法による投資損益(△は益)	6	△296
固定資産除売却損益(△は益)	196	350
受取保険金	△48	△36
災害による損失	—	21
段階取得に係る差損益(△は益)	△549	—
受取利息及び受取配当金	△342	△432
支払利息	657	1,031
売上債権の増減額(△は増加)	△5,081	12,984
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,327	△378
仕入債務の増減額(△は減少)	418	△7,832
未払消費税等の増減額(△は減少)	275	△503
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△18	15
その他	△1,530	110
小計	△2,069	19,123
利息及び配当金の受取額	345	462
利息の支払額	△701	△1,079
災害損失の支払額	—	△6
保険金の受取額	—	36
法人税等の支払額	△923	△2,217
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,348	16,319
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10,696	△13,133
定期預金の払戻による収入	6,051	17,732
有価証券の取得による支出	△2,000	△1,000
有価証券の売却による収入	3,000	2,000
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	2
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△5,458	—
預け金の預入による支出	△1,272	—
預け金の払戻による収入	1,237	1,219
貸付けによる支出	△835	△872
貸付金の回収による収入	18	26
有形固定資産の取得による支出	△2,533	△2,184
有形固定資産の売却による収入	5	4
無形固定資産の取得による支出	△133	△40
その他	△169	△122
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,785	3,632
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,720	△3,153
長期借入金の返済による支出	△1,494	△1,919
自己株式の取得による支出	—	△0
自己株式の処分による収入	47	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△708	—
配当金の支払額	△1,304	△1,304
非支配株主への配当金の支払額	△11	△82
その他	△20	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,230	△6,478
現金及び現金同等物に係る換算差額	△215	△85

現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,119	13,388
現金及び現金同等物の期首残高	29,299	26,407
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,288	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,468	39,794

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（IFRS第16号「リース」の適用）

一部の在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用し、借手の会計処理として原則すべてのリースについて四半期連結貸借対照表に資産及び負債を計上しております。

当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用が当第2四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内鉄鋼事業	海外鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	61,679	45,593	3,263	110,535	183	-	110,718
セグメント間の内部売上高又は振替高	16	-	621	637	100	△736	-
計	61,695	45,593	3,884	111,171	283	△736	110,718
セグメント利益又は損失(△)	3,451	1,066	532	5,049	△73	△652	4,323

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、港湾事業、土木資材販売業・保険代理店業等であります。
- 2 「セグメント利益又は損失(△)」の調整額△652百万円には、セグメント間取引消去19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△672百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
- 3 「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

2018年5月14日にベトナム・イタリー・スチール社の株式の追加取得を行い子会社化いたしました。これにより、海外鉄鋼事業セグメントにおいてのれんの金額が増加しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては3,683百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内鉄鋼事業	海外鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	63,579	57,005	3,203	123,787	236	-	124,023
セグメント間の内部売上高又は振替高	55	-	513	569	252	△821	-
計	63,634	57,005	3,716	124,356	488	△821	124,023
セグメント利益	7,875	2,452	442	10,769	62	△640	10,191

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、港湾事業、土木資材販売業・保険代理店業等であります。
- 2 「セグメント利益」の調整額△640百万円には、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△648百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
- 3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

海外鉄鋼事業セグメントにおいて、前連結会計年度にベトナム・イタリー・スチール社の株式の追加取得を行い子会社化したことに係る暫定的な会計処理は、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、前第2四半期連結累計期間ののれんの金額の重要な変動は、当該見直し後のものを記載しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。